

令和4年度 臨床看護師スキルアップ プロジェクトを実施

獨協学園姫路医療系高等教育・研究機構
医療系リカレント支援センター
姫路獨協大学看護学部



- ① with コロナへの挑戦
- ② スキルアップをめざして
- ③ リフレッシュしませんか

日時

10月1日(土)・10月15日(土)・10月29日(土)
10:00~16:00(受付9:30)

場所

兵庫県立はりま姫路総合医療センター 教育研修棟4階
“獨協学園はりまサテライト”

臨床看護師スキルアッププロジェクトプログラム

日程	内容	担当 (姫路獨協大学看護学部教員)
10月1日(土)	地域医療をともに支える看護の力	井上清美 (副学長兼看護学部長) (教授・公衆衛生看護学)
	生活行動とヘルスアセスメント	江口 瞳 (教授・基礎看護学)
	急変を見抜くフィジカルアセスメント	柘野浩子 (教授・成人看護学)
10月15日(土)	終末期における対象理解	赤星成子 (教授・成人看護学)
	在宅で「生きる」を支えるネットワーク	川井八重 (教授・在宅看護学)
	認知症患者とともに癒し癒されるタクティール®ケア	瀧本茂子 (教授・老年看護学)
10月29日(土)	災害看護の基礎知識とこころのケア	澤田由美 (教授・精神看護学)
	地域で生活する子どもと家族	三宅靖子 (教授・小児看護学)
	医療安全を高めるチームステップス®	中居由美子 (教授・母性看護学)
	看護実践とケアの倫理	江口 瞳 (前掲)

臨床看護師スキルアッププロジェクトの概要

企画 : 獨協学園姫路医療系高等教育・研究機構医療系リカレント支援センター 姫路獨協大学
看護学部

名称 : 臨床看護師スキルアッププロジェクト

責任者: 姫路獨協大学副学長兼看護学部長 井上清美

内容 : 「地域医療をともに支える看護の力」をテーマとする講習会

会場 : 兵庫県立はりま姫路総合医療センター 教育研修棟4階

“獨協学園はりまサテライト”

兵庫県姫路市神屋町3丁目264番地 TEL:079-240-5358

対象 : 姫路市と周辺地域の病院・訪問看護ステーション・福祉施設等の臨床看護師

参加者: 全日程延べ人数25名

生活行動とヘルスアセスメント

内容

- ヘルスアセスメント
 - フィジカルアセスメント
 - フィジカルイグザミネーション
- 看護情報の枠組み比較
- NANDA-I 分類法Ⅱ：13領域
- 事例紹介
- 事例のアセスメント
- 看護診断
- ケア計画



NANDA-I 分類法Ⅱ：13領域

パターン	主観的データ(S)・客観的データ(O)
ヘルスプロモーション	健康状態(健康自覚、健康管理の方法)
栄養	組織の維持と修復、栄養素の摂取・同化・異化
排泄と交換	身体からの老廃物の分泌と排出
活動/休息	エネルギー資源の産生、保存、消費、エネルギーバランス
知覚/認知	注意、見当識、感覚、知覚、認知、コミュニケーション
自己知覚	自己の価値・能力の評価、ボディイメージの感覚
役割関係	人との関係、生活状況における自分の役割や責任
セクシュアリティ	性同一性、性的機能、および生殖に対する感じ方
コーピング/ストレス耐性	人生の出来事におけるストレスとその対処行動
生活原理	生活における意思決定の指針となる価値、信念
安全/防御	危険や身体損傷や免疫システム、安全性の確保
安楽	精神的、身体的、社会的な安寧または安息の感覚
成長/発達	身体面や臓器系統、発達獲得



急変を見抜く フィジカルアセスメント

レサシアン シミュレーターモデルによる
心不全患者の心音と呼吸音の聴取



急変を見抜くフィジカルアセスメント
シミュレータに内蔵されている心不全患者の
心音と呼吸音をしっかり聞き分けています



異常音の聴取と判断したことをケアに生かすことをめざして

測定のみでなく
問診の技術を！！



患者の言動にあれっ？
と思う感性が大切

災害看護の基礎知識と こころのケア 救護者の心理

災害発生のメカニズム

災害の分類

災害医療体制にかかわるチーム

DMATとJMATの役割分担

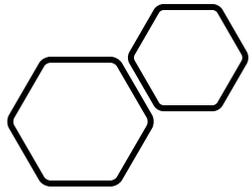
救護所における看護職の活動内容

こころのケア

災害に伴うストレス

被災地への心理的支援





2011年
3月11日

あの日
あの時……

こころに
残る感動的な
お話でした。



自分の感情を出すこと

トラウマを体験した子どもは極度の引きこもりと極度の攻撃の両極端の間を揺れ動く。親は当惑して、自分の子どもをどう扱えばいいかわからない。一方で子どもは、自分の恐怖や悲しさを上手に表現することが多い。子どもが感情を表出する具体的な感情を上手に表出するなど、子どもが親が子どもに隠れて泣いたり、自分の感情を感じとり、自分自身の感情を表現する。家の倒壊や、友人知人の喪失とは、子どもにとっても治療的

地域で生活する子どもと家族

本日のテーマ

- * 災害時の子どもと家族への支援
- * 子どもの発達障害について

自分の感情を出すことを恐れる
トラウマを体験した子どもは極度の
引きこもりと極度な攻撃の両極端の
間を揺れ動く

地域で生活する子どもと家族
* 災害時の子どもと家族への支援
* 子どもの発達障害について

医療安全を高める チームステップス

チーム医療

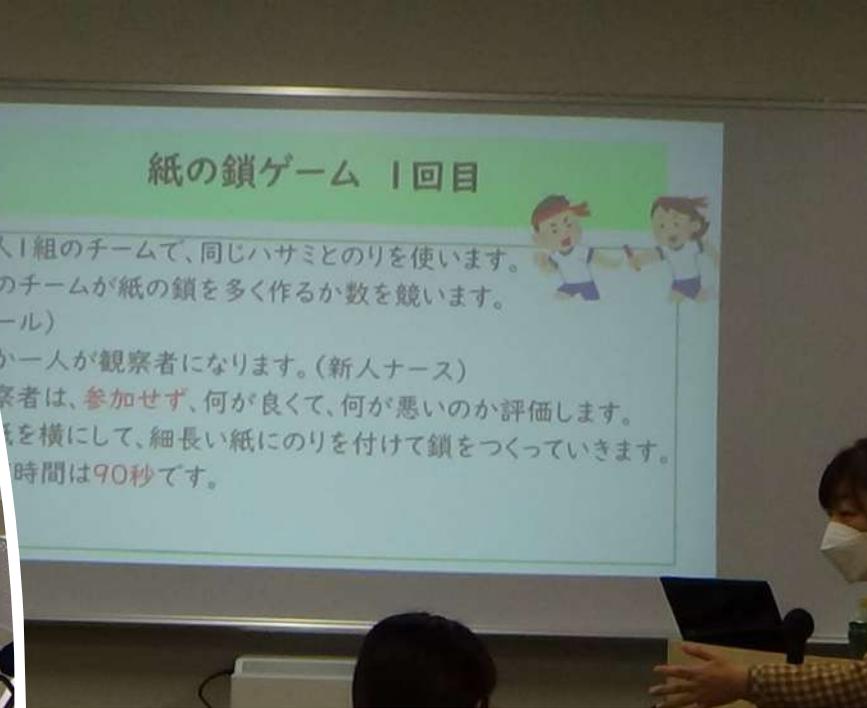
紙の鎖ゲーム

チーム医療と医療安全

リーダーシップ

コミュニケーション

患者の安全を高める





患者中心の医療→医療安全→医療事故の減少

倫理とは
看護倫理の歴史的推移
徳の倫理、原則の倫理、ケアの倫理
倫理的ジレンマと対処
倫理的問題への取り組み



看護倫理とケアの倫理
あなたならどうする？

安全を優先
1. チューブ挿入は
- チューブやテープの
- 必要性について十分
- チューブが視界に入ら
2. 抑制をしていることには
- 抑制を外した時間に手
- 抑制部マッサージ
- 手を取りゆくりと対話
3. チューブ線の早期抜き
- 経口摂取の可能性や手
- 医師あるいは看護師間



地域医療をとともに支える看護の力

本プロジェクトにご参加いただきました皆さま、
また、ご協力をいただきました各医療機関の皆さま
に、お礼を申し上げます。
受講者の皆様のフレッシュな視線に心を打たれ、
看護に対する情熱とパワーに元氣・勇気をもいた
だきました。
これからも、臨床看護師の皆さまとともに、看護
実践力向上のために励んでまいります。



令和4年度臨床看護師スキルアッププロジェクト スタッフ